

令和 8 (2026) 年度 国際文化研究科 (修士課程) 9 月入試  
試験科目名: 外国語 (日本語)

**【出題の意図】**

日本語教育に関する資料を的確かつ迅速に読解、理解できるかを問うとともに、日本語教育で議論される社会問題について日本語での確に意見を述べられるかを問うものです。

**【解答例 (参考例)】**

[ I ] 次の文章の要旨を 150 字程度で書きなさい。

(参考例)

高等学校における外国人生徒の教育の課題は、入試制度や進路構造が日本語母語話者を前提としており、教育保障が十分でない点にある。支援は日本語の形式的指導に偏り、学習や進学を支える言語力育成に至っていない。入試・進路制度の改善と、学校全体での組織的支援体制の構築が必要である。

[ II ] 次の図表のうち 3 つ以上使って、「熊本県の外国人労働者の生活に関する課題」について 300~400 字程度で述べなさい。

(参考例)

熊本県の外国人労働者の生活には、複合的な課題が見られる。また、表 2-1 から、熊本県の在留外国人は、東南アジアからの技能実習生が多いことがわかる。次に、図 4-1 では、熊本県では農業など一次産業で働く外国人が多いのが特徴であることがわかる。最後に、図 4-9,4-27,4-8 から、日本語学習のニーズとして、日本人とおしゃべりしたい、日本語を勉強したいという人が多い一方で、仕事で日本語での会話や方言に困難を感じている人が多く、言語の壁が日常生活や行動を制約していることがわかる。特に方言に困難を感じる人が多いのは地方の特徴であると考えられる。また、図 4-8 で「仕事で困ること」は「ない」という回答が著しく多いのは、閉鎖的な環境を連想させ、調査方法も工夫が必要であるかもしれない。日本語学習支援の充実、そして多言語による相談体制の整備を進める仕組みづくりが求められる。